

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします
3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆ たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

こりす 2歳児クラス便り

令和5年7月18日
文責 大角 千代美

「これ、何？」「何するの？」「面白そう・・・」

～初めてのボディペインティング～

はっきりしない天気が続いていますが、最近では気温も上がり、耳を澄ますと園庭から蝉の鳴き声が聞こえて来るようになりました。太陽キラキラの夏はもうそこまで来ています。水分を細目に行い、元気に暑い夏を乗り越えていきたいと思えます。

先日、初めてのボディペインティングを園庭でしました。子ども達は興味津々、「これ、なあに？」とあつき君が近寄って来ました。「これ、何するの？」とよしひろ君。アルミ皿に絵具を入れて水を加えながら溶かしていきます。最初はアルミ皿の絵の具を指先でチョンチョンと突いて感触を楽しむ程度だったのですが、えいと君が掌に絵具を付けて腹部に付けはじめると感触が楽しかったのか次々に身体に塗り付けて「何か、ヌルヌルするね」とひなのちゃんに声を掛けます。しかし、ひなのちゃんはなかなか手が出ません。しばらく友だちの様子を見ていました。のえるちゃんやあこちゃんが楽しそうに身体に塗り付け始めるとやる気が出て恐る恐る最初は指で腹部に線を描いては感触を楽しみ、慣れて来ると指先から掌を使って腹部全体に塗り付け始めました。

初めてのボディペインティングは泥遊びとは違う感覚、なかなか手が出せない子ども達の表情はいつもと違って神妙でした。この季節、子ども達は水遊びや泥んこ遊びが大好きです。ジョウロやバケツ、ペットボトルで園庭に水を撒いては泥遊びに夢中です。沢山汗をかいて泥まみれになった後のシャワーはとても気持ち良さそうです。子ども達の元気な姿に「暑さなんか負けていけない」といつも励まされています。子ども達の活動は時に想像を超えて驚かされることもありますが、この時期ならではの色水遊びや絵の具などの様々な素材に触れていきたいと思えます。

汚れ物が増えて、泥遊びなどで汚れが落ちにくい時もあるかと思いますが、その分、子ども達が元気に楽しく遊んだ証拠ですのでご理解とご協力を宜しくお願い致します。



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 榎並 理恵 解決責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田瑞穂 (099-482-2927) 横峯友里子 (099-474-1851) 山口 和美 (090-5473-5866)